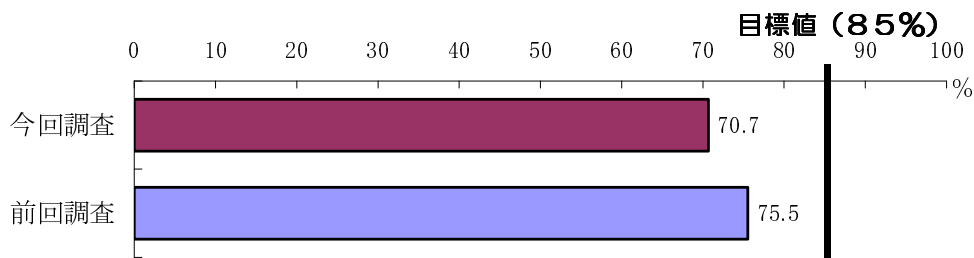


1. 総合的な分野

指標 No. 7 「健康であると自覚している人の増加」
 (「非常に健康である」、「健康な方である」と感じている人の割合)



分類	今回調査		前回調査		目標値
	件数	%	件数	%	
非常に健康である	155	6.4	166	7.3	—
健康な方である	1,567	64.3	1,561	68.2	
合計値	1,722	70.7	1,727	75.5	85%

[指標比較結果]

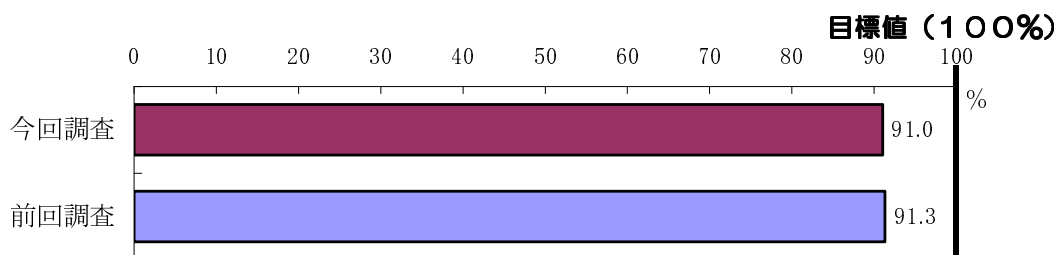
指標 No. 7 『健康であると自覚している人の増加』について見たものである。

※該当の設問はAのQ 2 (6 ページ) を参照

『健康であると自覚している方』の割合(「非常に健康である」+「健康な方である」)は70.7%で、前回に比べて5%ほど減少、市で設定した目標値85%から見ても15%ほど下回っている。

1. 総合的な分野

指標 No. 8 「健康のために何かしている人の増加」
 (「特に何もしていない」、「不明」の人以外の割合)



分類	今回調査		前回調査		目標値
	件数	%	件数	%	
栄養・食生活に気をつける	1,534	62.9	1,421	62.1	—
適度な身体活動・運動をする	1,161	47.6	1,059	46.3	
睡眠や休養を十分とる	1,378	56.5	1,390	60.8	
飲酒をひかえる	622	25.5	685	29.9	
たばこを吸わない	1,105	45.3	1,082	47.3	
規則正しい生活をする	898	36.8	873	38.2	
ストレス発散や気分転換をする	1,117	45.8	1,032	45.1	
身近な人や仲間との交流を大切にする	1,039	42.6	943	41.2	
その他	77	3.2	134	5.9	
合計値	2,217	91.0	2,089	91.3	100%

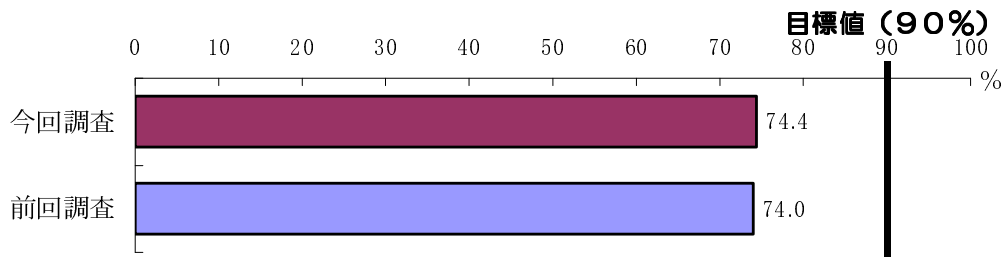
[指標比較結果]

指標 No. 8 『健康のために何かしている人の増加』について見たものである。
 ※該当の設問はAのQ 3 (8 ページ) を参照

『健康のために何かしている人』の割合 (「特に何もしていない」と“不明”を除いた割合) は 91.0% で、前回とほぼ同じ数値となっており、市で設定した目標値 100%から見ると 9%ほど下回っている。

1. 総合的な分野

指標 No. 9 「定期的に健康診断を受けている人の増加」
 (「受けている」人の割合)



分類	今回調査		前回調査		目標値
	件数	%	件数	%	
受けている	1,812	74.4	1,694	74.0	90%

[指標比較結果]

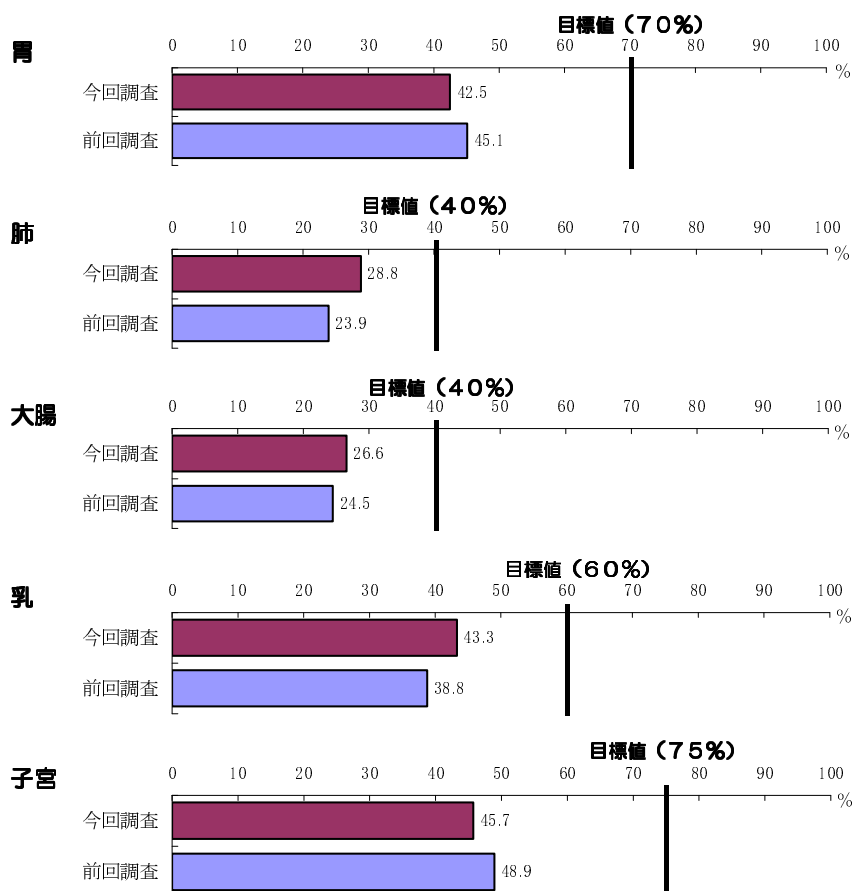
指標 No. 9 『定期的に健康診断を受けている人の増加』について見たものである。

※該当の設問はAのQ 4 (12 ページ) を参照

『定期的に健康診断を受けている方』の割合は 74.4%で、前回とほぼ同じ数値となっており、市で設定した目標値 90%から見ると 15%ほど下回っている。

1. 総合的な分野

指標 No. 10 「定期的ながん検診を受けている人の増加」
 (「胃・肺・大腸・乳・子宮」の各がん検診を定期的に受けている 40 歳以上の人の割合)



分類	今回調査		前回調査		目標値
	件数	%	件数	%	
胃	737	42.5	708	45.1	70%
肺	500	28.8	375	23.9	40%
大腸	462	26.6	385	24.5	40%
乳	418	43.3	340	38.8	60%
子宮	441	45.7	428	48.9	75%

[指標比較結果]

指標 No.10『定期的ながん検診を受けている人の増加』について見たものである。

※該当の設問はAのQ 5 (20 ページ) を参照

『胃』のがん検診を受けている方の割合は 42.5%で、前回に比べやや減少しており、市で設定した目標値 70%から見ても 30%下回っている。

『肺』のがん検診を受けている方の割合は 28.8%で、前回に比べ 5%ほど増加しているが、市の目標値 40%から見ると、10%下回っている。

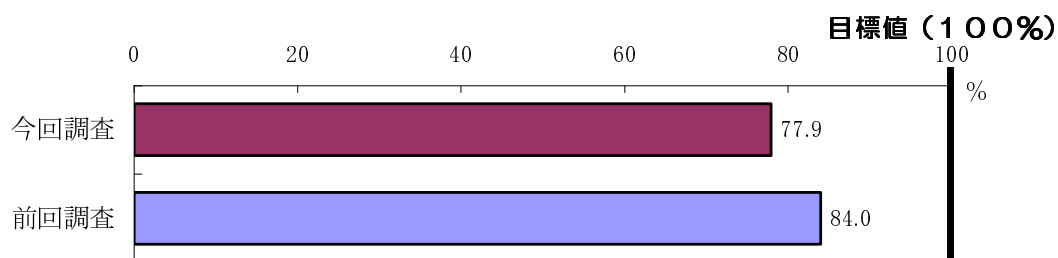
『大腸』のがん検診を受けている方の割合は 26.6%で、前回に比べわずかながら増加しているが、『肺』同様、市の目標値 40%から見ると 10%以上下回っている。

『乳』のがん検診を受けている方の割合は 43.3%で、前回に比べ 5%近く増加しているが、市で設定した目標値 60%から見ると 15%ほど下回っている。

『子宮』のがん検診を受けている方の割合は 45.7%で、当指標の対象となる部位の中では最も受診率が高いが、前回と比較すると 3%ほど減少しており、市で設定の目標値 75%から見ると、30%ほど下回っている。

1. 総合的な分野

指標 No. 11 「健康診断の結果を踏まえて必要な治療等を行った人の増加」
 (「定期的に健康診断を受けている」人で、「健康診断で要指導・要治療」と判断されたことのある人のうち、「医療機関などに行った」人の割合)



分類	今回調査		前回調査		目標値
	件数	%	件数	%	
行った	788	77.9	730	84.0	100%

[指標比較結果]

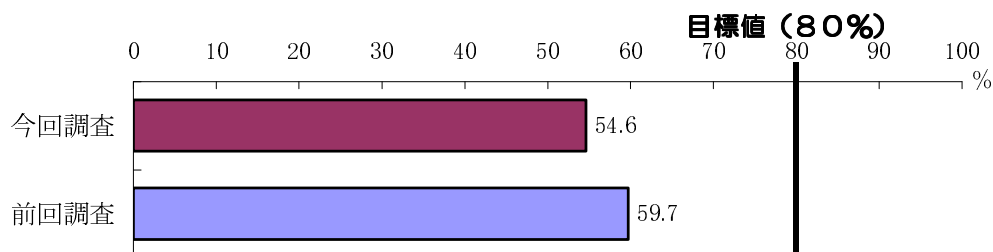
指標 No.11『健康診断の結果を踏まえて必要な治療等を行った人の増加』について伺ったものである。

※該当の設問はAのSQ4②(18ページ)を参照

『健康診断の結果を踏まえて必要な治療等を行った方』の割合は77.9%で、前回に比べ6%の減、市で設定の目標値100%(全員受診)から見ても、20%以上下回っている。

1. 総合的な分野

指標 No. 12 「健康や栄養に関する学習の場等に参加意欲のある人の増加」
 (健康や栄養に関する学習の場や自主グループ活動が近くで行なわれたら、
 「ぜひ参加したい」、「できれば参加したい」人の割合)



分類	今回調査		前回調査		目標値
	件数	%	件数	%	
ぜひ参加したい	184	7.6	147	6.4	—
できれば参加したい	1,145	47.0	1,220	53.3	
合計値	1,329	54.6	1,367	59.7	80%

[指標比較結果]

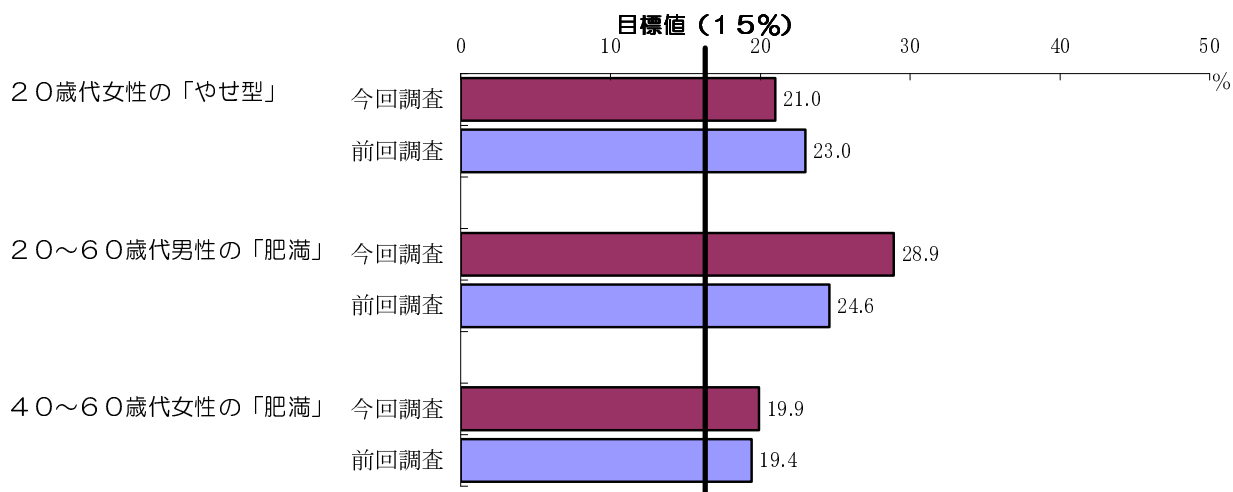
指標 No. 12『健康や栄養に関する学習の場等に参加意欲のある人の増加』を見たものである。
 ※該当の設問はBのQ12（80 ページ）を参照

『健康や栄養に関する学習の場等の参加意欲のある方』の割合（「ぜひ参加したい」＋「できれば参加したい」）は54.6%で、前回調査と比べると5%の減少、市で設定の目標値80%から見ても、20%以上下回っている。

2. 栄養・食生活

指標 No. 19 「適正体重の範囲にある人の増加」

- 20 歳代女性の「やせ型」：BMI 値 18.5 未満の 20 歳代女性の割合
- 20～60 歳代男性の「肥満」：BMI 値 25 以上の 20～60 歳代男性の割合
- 40～60 歳代女性の「肥満」：BMI 値 25 以上の 40～60 歳代女性の割合



分類	今回調査		前回調査		目標値
	件数	%	件数	%	
20歳代女性の「やせ型」	35	21.0	52	23.0	15%
20～60歳代男性の「肥満」	244	28.9	190	24.6	15%
40～60歳代女性の「肥満」	137	19.9	135	19.4	15%

[指標比較結果]

指標 No.19『適正体重の範囲にある人の増加』について見たものである

※該当の設問はAのQ 6（22 ページ）を参照

『20 歳代女性の「やせ型」』の方の割合は 21.0%で、前回調査に比べてわずかではあるが減少している。

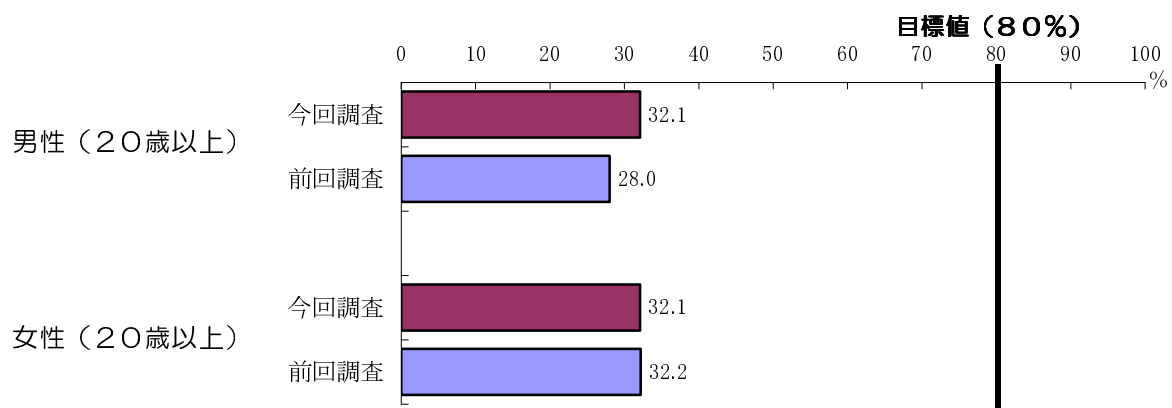
『20～60 歳代男性の「肥満」』の方の割合は 28.9%で、前回調査と比べると 4 %ほど増加しており、市で設定の目標値 15%から見ても倍近い割合となっている。

『40～60 歳代女性の「肥満」』の方の割合は 19.9%で、前回調査と比べるとごくわずかではあるが増加している。

2. 栄養・食生活

指標 No. 21 「体重コントロールを実践している人の増加」

- 男性（20 歳以上） 「実践している」人の割合
- 女性（20 歳以上） 「実践している」人の割合



分類	今回調査		前回調査		目標値
	件数	%	件数	%	
男性(20歳以上)	330	32.1	267	28.0	80%
女性(20歳以上)	447	32.1	427	32.2	80%

【指標比較結果】

指標 No.21 『体重コントロールを実践している人の増加』について伺ったものである。

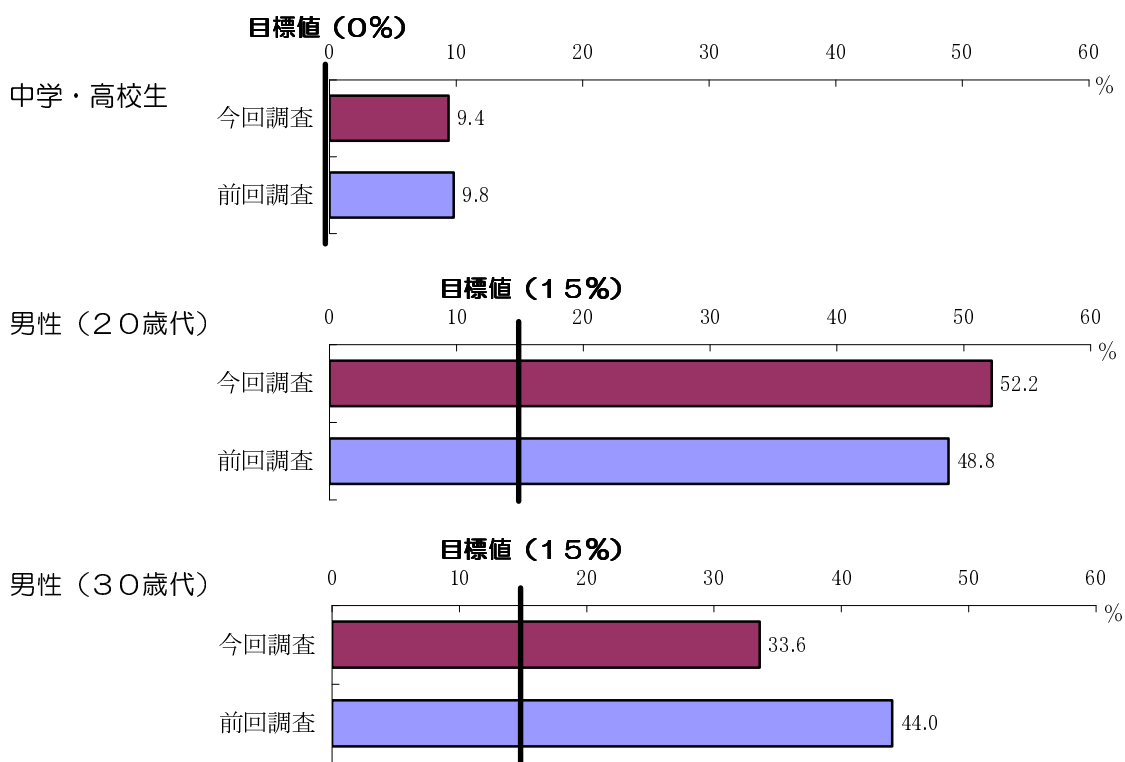
※該当の設問はAのQ 8（26 ページ）を参照

『体重コントロールを実践している方』の割合は、男性・女性共に 32.1%と全く同じ数値となっており、前回と比較すると、女性はほとんど変わらないが、男性では4 %増加している。

2. 栄養・食生活

指標 No. 22 「朝食をとらない人の減少」

- 中学・高校生：朝食を「毎日食べている」（不明含む）人以外の割合
- 男性（20 歳代）：朝食を「毎日食べている」（不明含む）人以外の割合
- 男性（30 歳代）：朝食を「毎日食べている」（不明含む）人以外の割合



分類	今回調査		前回調査		目標値
	件数	%	件数	%	
中学・高校生	24	9.4	35	9.8	0%
男性(20歳代)	59	52.2	62	48.8	15%
男性(30歳代)	53	33.6	62	44.0	15%

[指標比較結果]

指標 No.22『朝食をとらない人の減少』について見たものである。

※該当の設問はBのQ 1（30 ページ）、Q 2（36 ページ）をそれぞれ参照

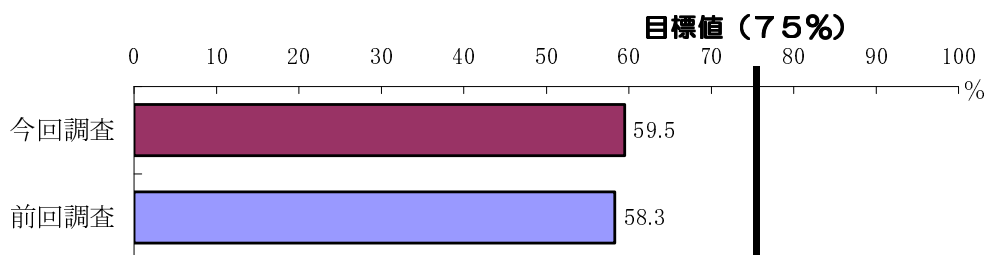
『中学・高校生』で朝食をとらない方の割合は9.4%で、前回調査に比べわずかながら減少している。

『男性（20 歳代）』で朝食をとらない方の割合は52.2%で、前回調査と比べるとやや増加の傾向にある上、市で設定の目標値15%から見ると、37%も上回っている。

『男性（30 歳代）』で朝食をとらない方の割合は33.6%で、前回調査と比べると10%ほど減少している。

2. 栄養・食生活

指標 No. 23 「1日最低1食は家族等2人以上でゆっくり時間をかけて食事をする人の増加」
 （「毎日している」人の割合）



分類	今回調査		前回調査		目標値
	件数	%	件数	%	
毎日している	1,450	59.5	1,333	58.3	75%

[指標比較結果]

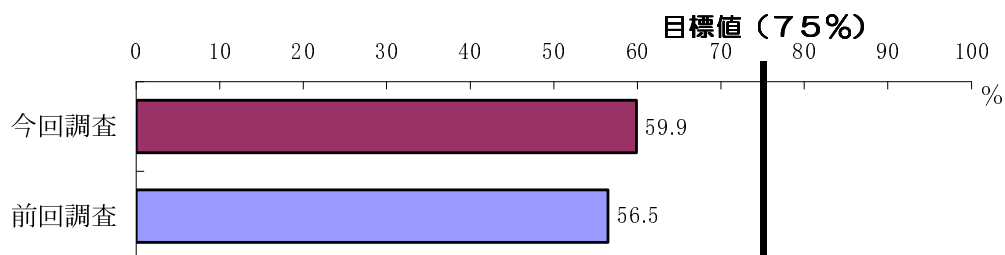
指標 No.23 『1日最低1食は家族等2人以上でゆっくり時間をかけて食事をする人の増加』について見たものである。

※該当の設問はBのQ3（38ページ）を参照

『1日最低1食は家族等2人以上でゆっくり時間をかけて食事をする方』の割合は59.5%で、前回に比べごくわずかながら増加となっている。市で設定の目標値75%から見ると、15%ほど下回っている。

2. 栄養・食生活

指標 No. 24 「緑黄色野菜を毎日食べる人の増加」
 (「1日2回以上」・「1日1回程度」食べる人の割合)



分類	今回調査		前回調査		目標値
	件数	%	件数	%	
1日2回以上	494	20.3	344	15.0	—
1日1回程度	965	39.6	950	41.5	
合計値	1,459	59.9	1,294	56.5	75%

[指標比較結果]

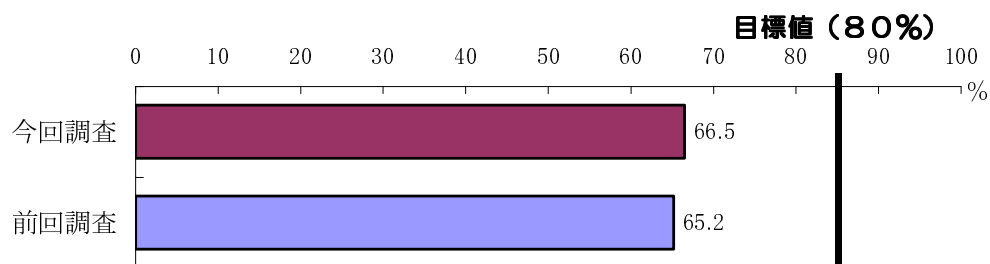
指標 No.24『緑黄色野菜を毎日食べる人の増加』について見たものである。

※該当の設問はBのQ 6(4) (56 ページ) を参照

『緑黄色野菜を毎日食べる方』の割合は **59.9%**で、前回調査と比べると3%ほど増加しているが、市で設定の目標値 **75%**から見ると、15%下回っている。

2. 栄養・食生活

指標 No. 25 「緑黄色野菜以外の野菜（その他の野菜）を毎日食べる人の増加」
（「1日2回以上」・「1日1回程度」食べる人の割合）



分類	今回調査		前回調査		目標値
	件数	%	件数	%	
1日2回以上	573	23.5	455	19.9	—
1日1回程度	1,049	43.0	1,036	45.3	
合計値	1,622	66.5	1,491	65.2	80%

[指標比較結果]

指標 No.25 『緑黄色野菜以外の野菜（その他の野菜）を毎日食べる人の増加』について見たものである。

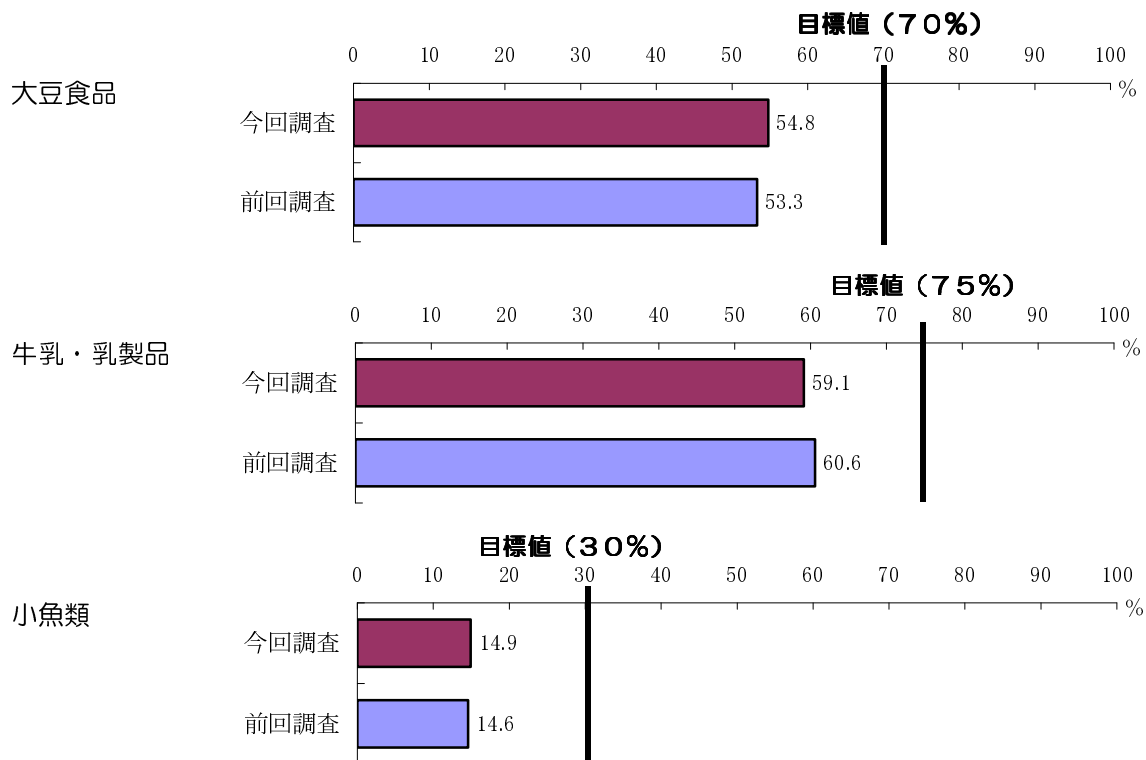
※該当の設問はBのQ 6(5) (58 ページ) を参照

『緑黄色野菜以外の野菜を食べる方』の割合は 66.5%で、前回と比べるとわずかながら増加しているが、市で設定の目標値 80%から見ると、14%下回っている。

2. 栄養・食生活

指標No. 26 「毎日カルシウムに富む食品を食べる人の増加」

『大豆食品』、『牛乳・乳製品』、『小魚類』を「1日2回以上」、「1日1回程度」食べる人の割合



分類	今回調査		前回調査		目標値
	件数	%	件数	%	
大豆食品	1,335	54.8	1,220	53.3	70%
牛乳・乳製品	1,441	59.1	1,387	60.6	75%
小魚類	363	14.9	335	14.6	30%

[指標比較結果]

指標 No.26 『毎日カルシウムに富む食品を食べる人の増加』について見たものである。

※該当の設問はBのQ 6(1) (大豆食品：50 ページ)、Q 6(2) (牛乳・乳製品：52 ページ)、Q 6(3) (小魚類：54 ページ) をそれぞれ参照

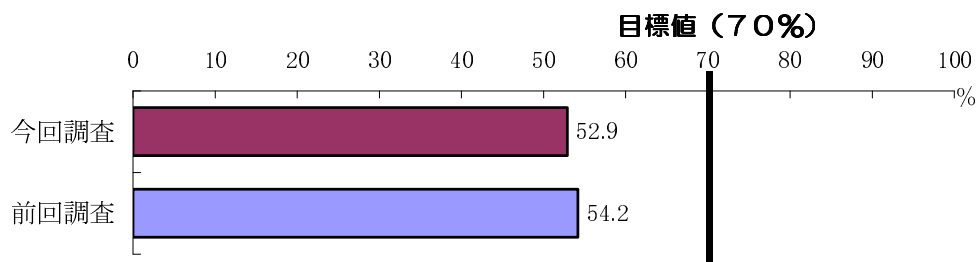
『大豆食品を毎日食べる方』の割合は54.8%で、前回と比べるとわずかながら増加しているが、市で設定の目標値70%からすると、15%ほど下回っている。

『牛乳・乳製品を毎日食べる方』の割合は59.1%で、前回と比べるとわずかばかりの減少となっており、市で設定の目標値75%から見ると、16%ほど下回っている。

『小魚類を毎日食べる方』の割合は14.9%で、前回とほぼ変わらない数値で、市で設定の目標値30%のちょうど半分となっている。

2. 栄養・食生活

指標 No. 27 「毎日果物を食べる人の増加」
 (「1日2回以上」・「1日1回程度」食べる人の割合)



分類	今回調査		前回調査		目標値
	件数	%	件数	%	
1日2回以上	346	14.2	288	12.6	—
1日1回程度	942	38.7	951	41.6	
合計値	1,288	52.9	1,239	54.2	70%

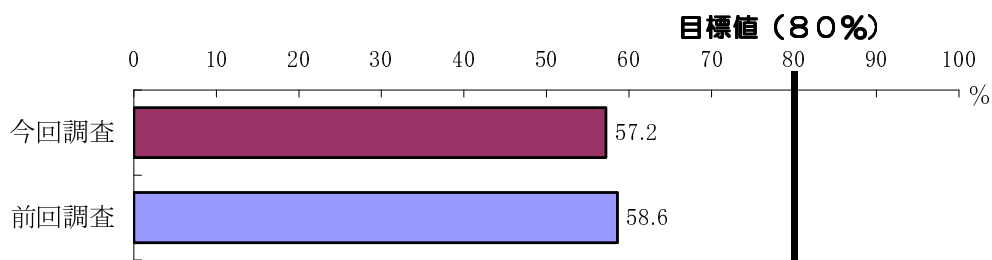
[指標比較結果]

指標 No.27『毎日果物を食べる人の増加』について見たものである。
 ※該当の設問はBのQ 6(6) (60 ページ) を参照

『毎日果物を食べる方』の割合は 52.9%で、前回と比べるとわずかながら減少となっており、市で設定の目標値 70%から見ても 17%下回っている。

2. 栄養・食生活

指標 No. 33 「自分の適正体重を認識している人の増加」
(認識と実際の BMI 値が一致している人の割合)



分類	今回調査		前回調査		目標値
	件数	%	件数	%	
自分の適正体重を認識している人	1,394	57.2	1,341	58.6	80%

[指標比較結果]

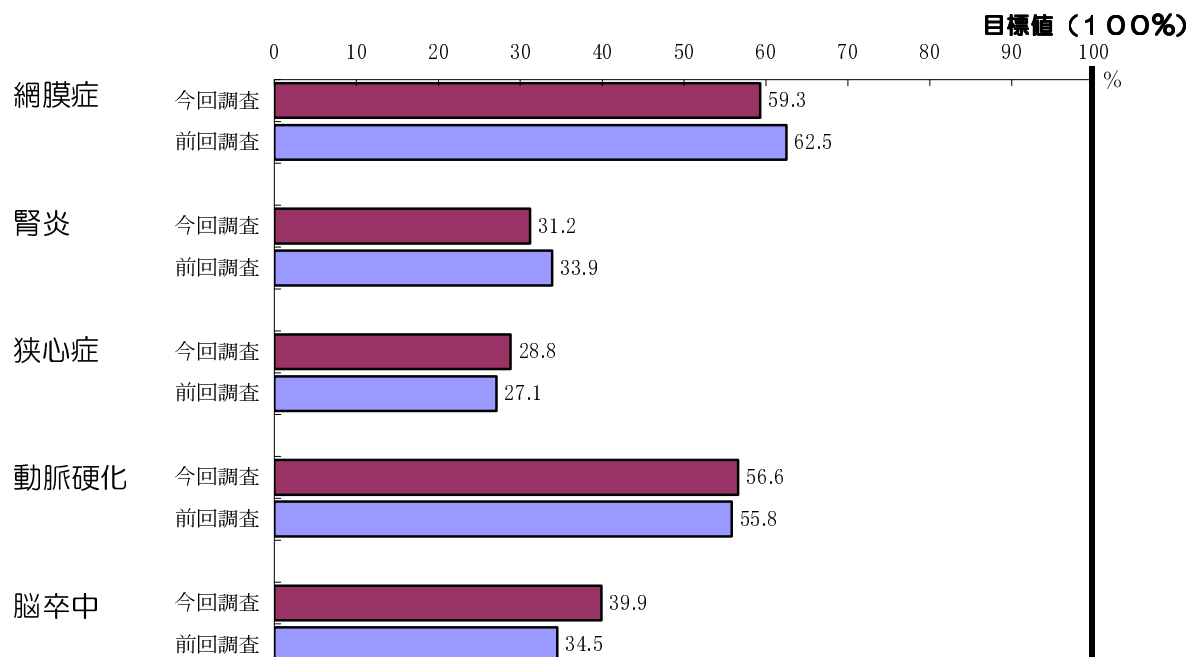
指標 No.33 『自分の適正体重を認識している人の増加』について見たものである。

※該当の設問はAのQ 7 (24 ページ) を参照

『自分の適正体重を認識している方』の割合は **57.2%**で、前回と比較するとやや減少しており、市で設定の目標値 80%から見ても、**23%**ほど下回っている。

2. 栄養・食生活

指標 No. 34 「糖尿病が引き起こす合併症について正しい知識を有する人の増加」
「網膜症」、「腎炎」、「狭心症」、「動脈硬化」、「脳卒中」について、糖尿病が引き起こす合併症として『当てはまる』とした人の割合)



分類	今回調査		前回調査		目標値
	件数	%	件数	%	
網膜症	1,444	59.3	1,429	62.5	100%
腎炎	761	31.2	776	33.9	100%
狭心症	702	28.8	619	27.1	100%
動脈硬化	1,379	56.6	1,276	55.8	100%
脳卒中	973	39.9	790	34.5	100%

[指標比較結果]

指標 No.34『糖尿病が引き起こす合併症について正しい知識を有する人の増加』について伺ったものである。

※該当の設問はBのQ 8 (66 ページ) を参照

『網膜症』を挙げた方の割合は 59.3%で、前回と比べると 3 %ほど減少している。当指標における該当症例の中では最も高い割合であるが、それでも市で設定の目標値 100%から見ると、40%ほど下回っている。

『腎炎』を挙げた方の割合は 31.2%で前回と比べると約 3 %の減少であり、市で設定の目標値 100%には遠く及ばない結果となっている。

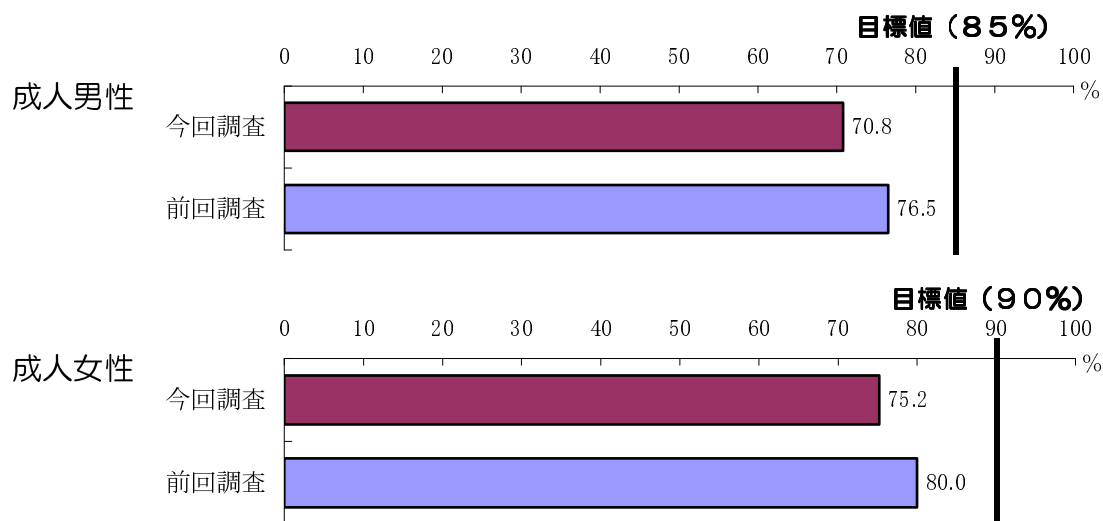
『狭心症』を挙げた方の割合は 28.8%で、前回と比べると 2 %ほど増加しているが、全症例中最も割合が低く、市で設定の目標値 100%から見ると 1 / 3 以下の割合となっている。

『動脈硬化』を挙げた方の割合は 56.6%で、前回からわずかに増加しているが、市で設定の目標値 100%から見ると、まだ相当の開きがある。

『脳卒中』を挙げた方の割合は 39.9%で、前回と比べ 5 %ほど増加、全症例中最も増加幅が大きいが、市で設定の目標値 100%からすると大きく下回っている。

2. 栄養・食生活

指標 No. 35 「自分の適正体重を維持することのできる食事量を理解している人の増加」
 (「知っている」、「だいたい知っている」人の割合)



分類	今回調査		前回調査		目標値
	件数	%	件数	%	
成人男性	727	70.8	729	76.5	85%
成人女性	1,047	75.2	1,062	80.0	90%

[指標比較結果]

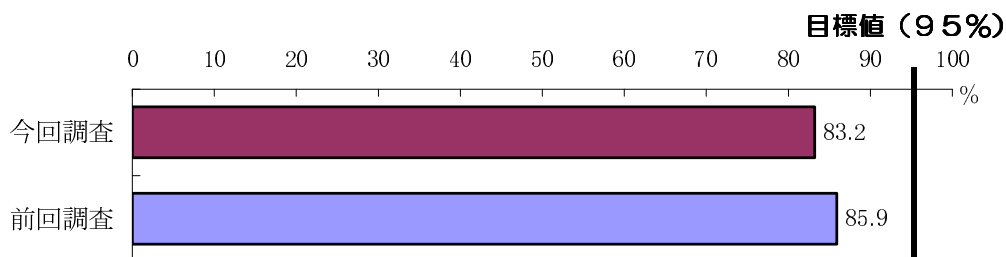
指標 No.35『自分の適正体重を維持することのできる食事量を理解している人の増加』について、成人男性と成人女性の別に見たものである。
 ※該当の設問はBのQ 7 (62 ページ) を参照

『成人男性』での割合は 70.8%で、前回調査に比べ約 6 %の減、市で設定の目標値 85%から見ると 15%下回っている。

『成人女性』での割合は 75.2%で、前回調査に比べ 5 %の減、目標値 90%から見ると、『成人男性』同様 15%下回っている。

2. 栄養・食生活

指標 No. 36 「栄養のバランスに気をつけている人の増加」
 (「気をつけている」、「少し気をつけている」人の割合)



分類	今回調査		前回調査		目標値
	件数	%	件数	%	
気をつけている	957	39.3	992	43.4	—
少し気をつけている	1,070	43.9	972	42.5	
合計値	2,027	83.2	1,964	85.9	95%

[指標比較結果]

指標 No.36『栄養のバランスに気をつけている人の増加』について見たものである。
 ※該当の設問はBのQ 4 (42 ページ) を参照

『栄養のバランスに気を付けている方』の割合は 83.2%で、前回に比べると 3 %ほどの減で、市で設定の目標値 95%から見ると 12%下回っている。